第６次高萩市総合計画後期基本計画
及び第３期高萩市創生総合戦略の策定に向けた
市民アンケート調査結果
【概要版】

令和７年３月

高　萩　市

目　次

１．調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　①　調査の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　②　調査方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　③　留意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２．アンケート結果の分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　①　回答者属性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　②　高萩市の暮らし・住みやすさ・幸福感 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　③　結婚・出産・子育ての考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
　④　デジタルの活用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　⑤　市の取り組みに対する評価（満足度・重要度） ・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　⑥　これからのまちづくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

１．調査の概要

①　調査の目的

第６次高萩市総合計画後期基本計画及び第３期高萩市創生総合戦略の策定にあたり、市政に関する市民の意向等を把握し、計画づくりに反映させることを目的とします。

②　調査方法

ア　調査対象：一般市民

◆調査期間　　：令和６年（2024 年）12 月４日（水）～12 月 20 日（金）
◆調査対象者　：高萩市に住所を有する 18 歳以上の住民を無作為抽出
◆調査方法　　：郵送による配布、郵送及び Web による回収
◆回収率　　：31.3%（配布 3,000 件、有効回収 940 件→郵送 814 件、Web126 件）

イ　調査対象：若年層

◆調査期間　　：令和６年（2024 年）12 月４日（水）～12 月 20 日（金）
◆調査対象者　：高萩市に住所を有する高校生相当年齢の住民
◆調査方法　　：郵送による配布、郵送及び Web による回収
◆回収率　　：20.2%（配布 623 件、有効回収 126 件→郵送 63 件、Web63 件）

③　留意事項

回答の割合は、選択肢ごとに小数点第２位を四捨五入しているため、数値の合計が 100%にならない場合があります。

また、複数回答可の設問の場合、すべての回答割合を合計すると 100%を超える場合があります。

２．アンケート結果の分析

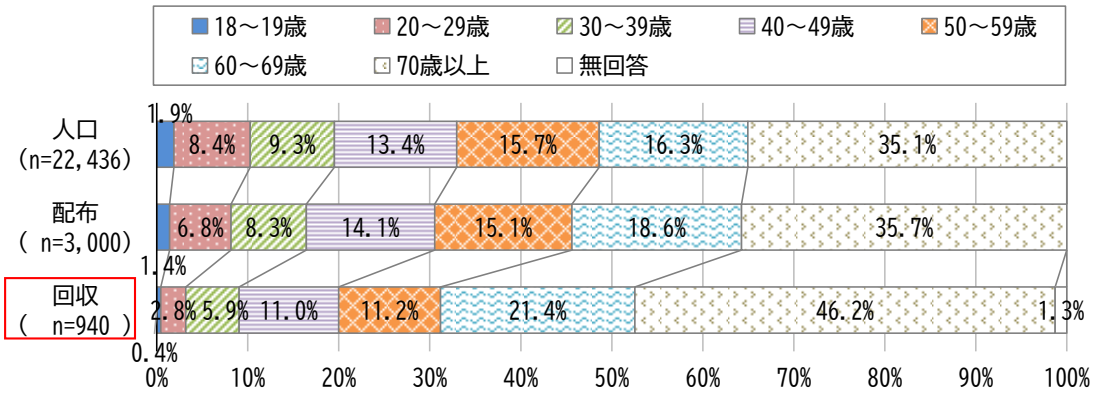
①　回答者属性

➢ **回答者の年齢：高齢化の進行、高齢者の回答率の高さにより 60 歳以上が７割近く**

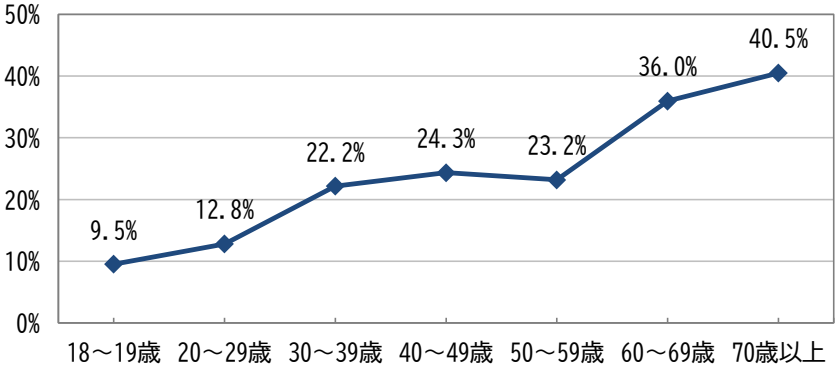
今回の市民を対象とした調査では、60 歳以上が７割近くを占めていますが、その要因として、令和６年 10 月１日時点の本市の 18 歳以上の人口構成をみると、70 歳以上が 35.1%、60 歳代が 16.3%で 60 歳以上が５割を超える状況となっています。このため、無作為抽出した市民アンケートの配布割合も同様の構成となっています。

さらに、年齢別の回収率をみると、高齢になるほど回収率が上がっており、60 歳以上の回答が増えたもう一つの要因となっています。

【本市の年齢別人口、市民アンケート：配布・回収割合の比較】



【市民アンケート：年齢別回収率】



②　高萩市の暮らし・住みやすさ・幸福感

➢ **暮らしやすさ：59 歳以下は『暮らしにくい』と感じる割合が約４割とやや高い**

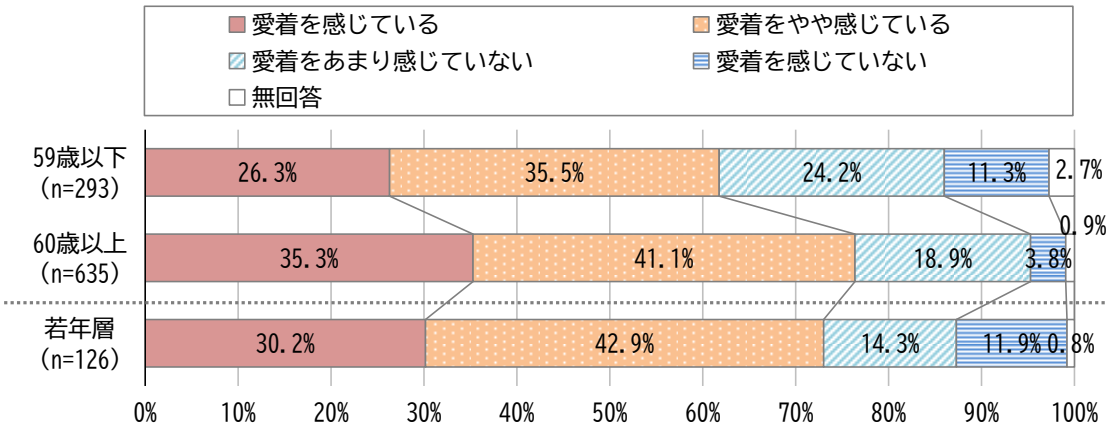
暮らしやすさについては、『暮らしやすい』が約６割、『暮らしにくい』が約３割であるものの、59 歳以下では『暮らしにくい』と感じる割合が約４割と高くなっており、今後の地方創生などの視点では、生産年齢人口の暮らしやすさが課題と考えられます。

また、以前（10 年くらい前）と比べて『住み良くなった』は約１割で、『住みにくくなった』は３割となっており、特に 60 歳以上では『住みにくくなった』と感じる割合が高くなっています。

➢ **市への愛着：59 歳以下は『愛着を感じている』が約６割とやや低い**

高萩市への愛着については、『愛着を感じている』が全体では約７割となっています。年齢別では、60 歳以上と若年層で『愛着を感じている』が７割を超えているものの、59 歳以下で約６割と若干低くなっており、現役世代での愛着の低さが課題と考えられます。

【高萩市への愛着：市民（年齢別）・若年層】



➢ **良いところ：若年層・59 歳以下は「花貫渓谷などの景色」、60 歳以上は「穏やかな気候」**

高萩市の良いところをみると、年齢別では若年層と 59 歳以下では「花貫渓谷や里山などの景色」が１位となっていますが、60 歳以上では「気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすいこと」が１位となっており、シニア世代では穏やかな気候も良さの一つとなっています。

【高萩市の良いところ：市民（年齢別）・若年層】

59歳以下（n=293）：高萩市の良いところ		
1位	花貫渓谷や里山などの景色	39.2%
2位	気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすい	31.4%
3位	高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色	29.0%
4位	常磐自動車道や国道６号、常磐線などを利用して移動しやすい	28.0%
5位	スーパーモール高萩やイオンなどの商業施設	24.6%

60歳以上（n=635）：高萩市の良いところ		
1位	気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすい	53.2%
2位	花貫渓谷や里山などの景色	47.1%
3位	スーパーモール高萩やイオンなどの商業施設	32.1%
4位	常磐自動車道や国道６号、常磐線などを利用して移動しやすい	29.0%
5位	高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色	24.9%

若年層（n=126）：高萩市の良いところ		
1位	花貫渓谷や里山などの景色	43.7%
2位	高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色	38.1%
3位	スーパーモール高萩やイオンなどの商業施設	22.2%
4位	高萩まつりや紅葉まつりなどのイベント	21.4%
5位	気候が穏やか（夏が涼しい等）で暮らしやすい	20.6%

➢ **高萩市での暮らしの幸福度：59 歳以下では幸福度（平均点）がやや低い**

高萩市での暮らしにおける幸福度は全体の平均点では 5.35 点ですが、年齢別にみると、60 歳以上が 5.59 点であるのに対して 59 歳以下の平均点が 4.82 点とやや低くなっています。

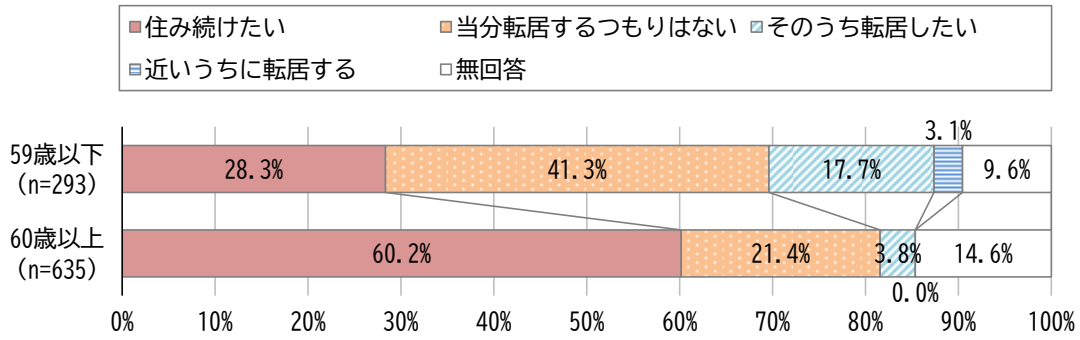
一方、若年層では 20 年先『幸せな暮らしを送ることができている』との回答が８割近くあり、59 歳以下も含めて、高萩市で希望をかなえることができる施策が必要となっています。

➢ **居住意向：59 歳以下では『転居』意向が約２割で、理由は「日常生活が不便」**
若年層では『将来は住みたくない』が約半数、理由は「やりたい仕事がないから」

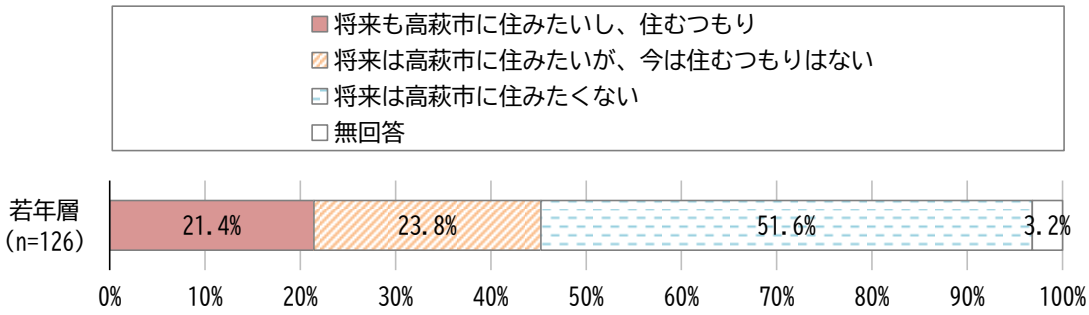
高萩市で『住み続けたい（「当分転居するつもりはない」も含む）』意向は全体では８割近くですが、年齢別にみると、59 歳以下では『住み続けたい』が約７割、『転居する又はしたい』が約２割となっています。59 歳以下の人の『住み続けたい』理由は「両親や親戚が近くにいる」や「職場が近い」などで、『転居したい』理由は「日常生活が不便」、「道路・交通の便が悪い」などとなっています。

一方、若年層では、『将来高萩市に住みたい』割合は約 4.5 割で、「将来は高萩市に住みたくない」が約５割となっており、その理由として「自分のやりたい仕事が高萩市にないから」が最も多くとなっています。

【今後の居住意向：市民（年齢別）】



【将来の居住意向：若年層】



③　結婚・出産・子育ての考え方

➢ **結婚：　59 歳以下では「結婚したことがない」が約３割**

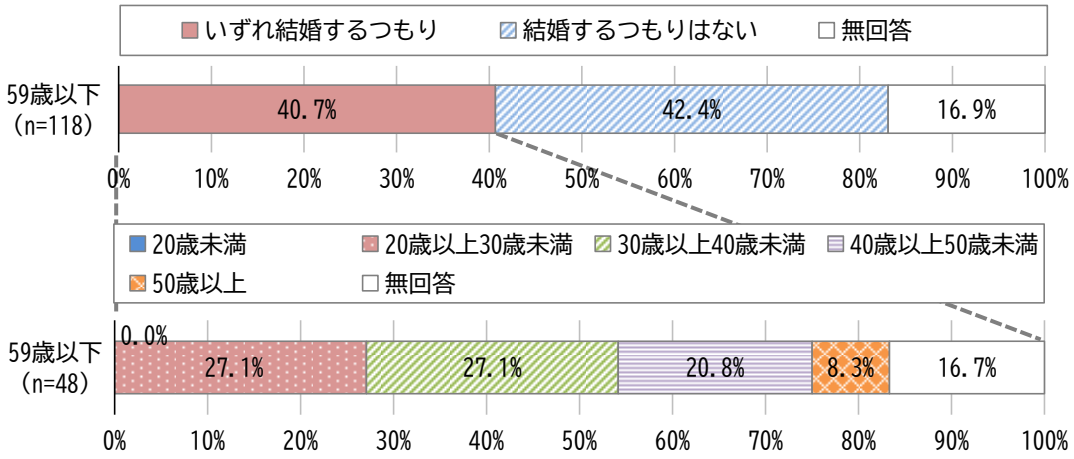
結婚歴がある割合は、全体では約８割ですが、年齢別でみると 59 歳以下では約３割が「結婚したことがない」と回答しており、その主な理由として、「適当な相手にまだ出会っていないから」「独身のほうが自由で気楽だから」などとなっています。

➢ **結婚に対する考え等：　高校生、59 歳以下では結婚や年齢へのこだわりは高くない**

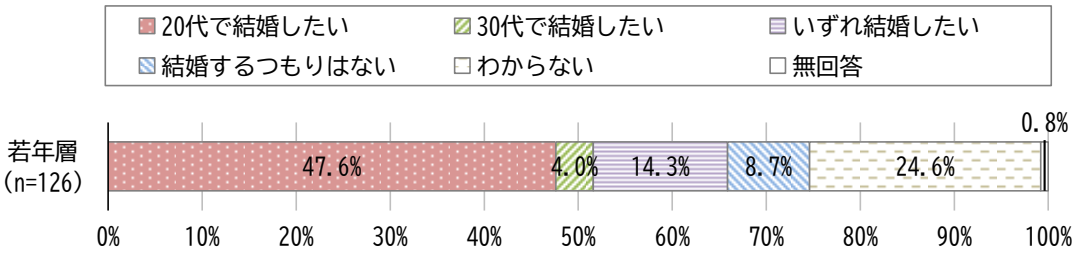
現在独身の人の今後について、59 歳以下で「いずれ結婚するつもり」「結婚するつもりはない」がともに約４割で、いずれ結婚する場合の自分の年齢については、40 歳未満までが約 5.5 割で、40 歳以上が約３割となっています。

一方、高校生の結婚に対する考え方をみると、『結婚したい』割合は合わせて６割以上ですが、「20 代」又は「30 代で結婚したい」は約５割となっており、結婚の年齢や結婚そのものへのこだわりは高くないことがうかがえます。

【結婚に対する考え、年齢：59 歳以下（現在独身）】



【結婚に対する考え：若年層】

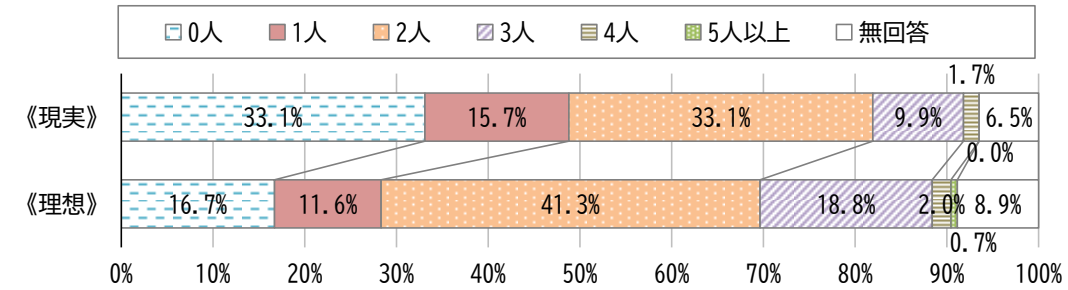


➢ **子どもの数：59 歳以下では「理想の数よりも少ない」が約３割、理由は「経済的負担」**

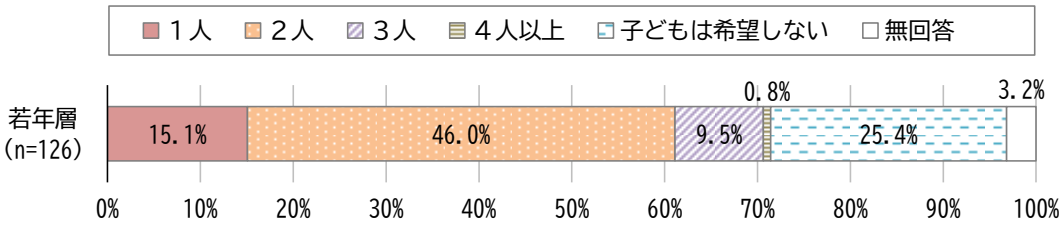
子どもの数を 59 歳以下でみると、現実の数は「２人」と「０人」が約３割となっていますが、理想の数としては「２人」が約４割、「３人」が約２割となっています。また、約３割の人が「理想の人数よりも少ない」と回答しており、その理由として、「子育てや教育への経済的負担」が最も大きな理由となっています。

また、若年層の子どもの希望については、「２人」が最も多く、『子どもを欲しい』割合は７割以上となっていますが、「子どもは希望しない」という回答が全体の１／４程見られます。

【子どもの数（現実と理想）：59 歳以下（n=293）】



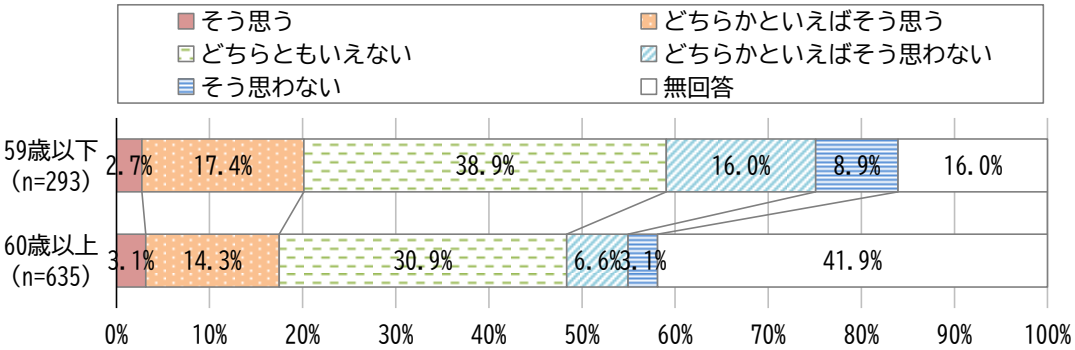
【子どもの希望：若年層】



➢ **子育て環境の整備：59 歳以下では『そう思わない』（整っていない）が若干多い**

子どもを安心して産み育てられる環境について年齢別にみると、59 歳以下では『そう思う』（整っている）割合が約２割、『そう思わない』（整っていない）割合が約 2.5 割で、『そう思わない』割合が約５ポイント高くなっています。

【子どもを安心して産み育てられる環境：市民（年齢別）】



④　デジタルの活用

➢ **利用しているデジタル端末：**
59 歳以下の約９割、60 歳以上の約７割がスマホを利用

利用しているデジタル端末ではスマートフォンが最も多く、年齢別にみると、59 歳以下では約９割、60 歳以上では約７割がスマートフォンを利用しています。

【利用しているデジタル端末：市民（年齢別）】

59歳以下（n=293）：利用しているデジタル端末		
1位	スマートフォン	91.8%
2位	テレビ	64.2%
3位	ノートパソコン	31.7%
4位	タブレット	25.3%
5位	ゲーム機	18.4%

60歳以上（n=635）：利用しているデジタル端末		
1位	スマートフォン	71.8%
2位	テレビ	70.2%
3位	ノートパソコン	23.3%
4位	従来型の携帯電話（ガラケー）	13.9%
5位	デスクトップパソコン	9.1%

➢ **利用しているインターネットサービス：59 歳以下は「インターネットショッピング」、60 歳以上は「地図・ナビゲーション」、若年層は「ＳＮＳ」をよく利用している**

利用しているインターネットサービスを年齢別にみると、59 歳以下では「インターネットショッピング」が最も多く、60 歳以上では「地図・ナビゲーション」「情報検索・ニュース」などが多くなっています。

若年層では、「ＳＮＳ」が約９割で最も多く、次いで「情報検索・ニュース」「ソーシャルゲーム・オンラインゲーム」「動画配信・音楽配信」などとなっています。

【利用しているインターネットサービス：市民（年齢別）、若年層】

59歳以下（n=293）：利用しているインターネットサービス		
1位	インターネットショッピング	76.5%
2位	情報検索・ニュース	70.0%
3位	地図・ナビゲーション	69.6%
4位	動画配信・音楽配信	60.8%
5位	支払い・決済(クレジットカード等)	58.4%

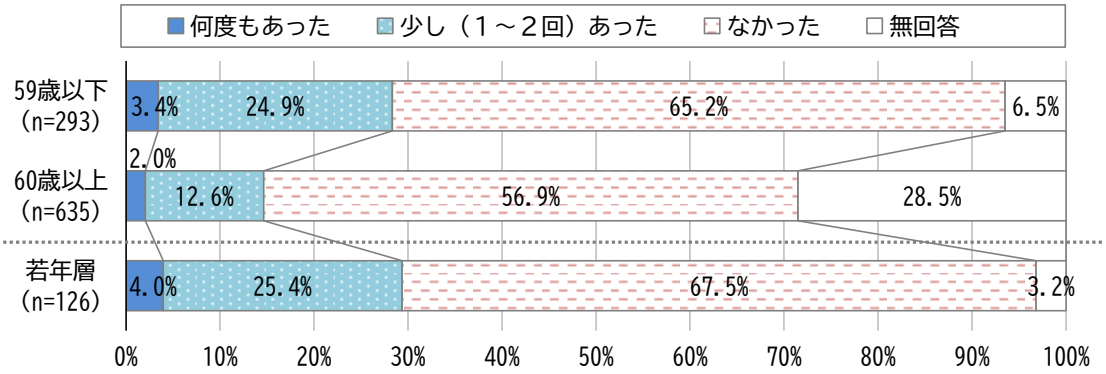
60歳以上（n=635）：利用しているインターネットサービス		
1位	地図・ナビゲーション	42.2%
2位	情報検索・ニュース	41.9%
3位	支払い・決済(クレジットカード等)	26.6%
4位	インターネットショッピング	26.3%
5位	利用したことがない	25.7%

若年層（n=126）：利用しているインターネットサービス		
1位	ＳＮＳ	90.5%
2位	情報検索・ニュース	67.5%
〃	ソーシャルゲーム・オンラインゲーム	67.5%
4位	動画配信・音楽配信	66.7%
5位	地図・ナビゲーション	65.9%

➢ **デジタル活用の際のトラブル：若年層、59 歳以下では『あった』割合が約３割**

デジタルサービスにおけるトラブルの経験について年齢別にみると、59 歳以下ではトラブルが『あった』割合が約３割あり、日常にＳＮＳを活用する若年層でも約３割となっており、注意喚起が必要と考えられます。

【デジタル活用の際のトラブル：市民（年齢別）、若年層】



➢ **利用しているＳＮＳ：全世代で利用が多いのが「LINE」「YouTube」、若年層では「Instagram」も多い**

利用しているＳＮＳの種類を年齢別にみると、59 歳以下では「LINE」「YouTube」の順に多く、60 歳以上では「LINE」「YouTube」の順に多いものの、「利用したことがない」が約３割となっています。

若年層では、「LINE」「YouTube」に次いで、「Instagram」が約 8.5 割と多くなっています。

【利用しているＳＮＳ：市民（年齢別）、若年層】

59歳以下（n=293）：利用しているＳＮＳ		
1位	LINE（ライン）	84.0%
2位	YouTube（ユーチューブ）	75.8%
3位	Instagram（インスタグラム）	63.8%
4位	TikTok（ティックトック）	24.9%
5位	X（エックス）※旧Twitter(ツイッター)	24.6%

60歳以上（n=635）：利用しているＳＮＳ		
1位	LINE（ライン）	46.6%
2位	利用したことがない	32.4%
3位	YouTube（ユーチューブ）	29.8%
4位	Instagram（インスタグラム）	7.9%
5位	Facebook（フェイスブック）	5.5%

若年層（n=126）：利用しているＳＮＳ		
1位	LINE（ライン）	96.8%
2位	YouTube（ユーチューブ）	93.7%
3位	Instagram（インスタグラム）	85.7%
4位	X（エックス）※旧Twitter(ツイッター)	64.3%
5位	TikTok（ティックトック）	61.9%

➢ **高萩市公式ＳＮＳへの関心：全世代で利用が「見たことがない」が約６割～約７割**

高萩市公式ＳＮＳについて、年齢別にみると、「見たことがない」は 59 歳以下で６割弱、60 歳以上で７割、若年層でも７割弱となっており、ＳＮＳの利用度に関わらず、全世代で関心が低いことが課題と考えられます。

【高萩市公式ＳＮＳへの関心：市民（年齢別）、若年層】

59歳以下（n=293）：見たことがある高萩市公式ＳＮＳ		
1位	見たことがない	56.7%
2位	LINE（ライン）	19.1%
3位	X（エックス）※旧Twitter(ツイッター)	14.3%

60歳以上（n=635）：見たことがある高萩市公式ＳＮＳ		
1位	見たことがない	71.2%
2位	LINE（ライン）	8.8%
3位	YouTube（ユーチューブ）	4.7%

若年層（n=126）：見たことがある高萩市公式ＳＮＳ		
1位	見たことがない	66.7%
2位	X（エックス）※旧Twitter(ツイッター)	15.1%
3位	Instagram（インスタグラム）	10.3%

⑤　市の取り組みに対する評価（満足度・重要度）

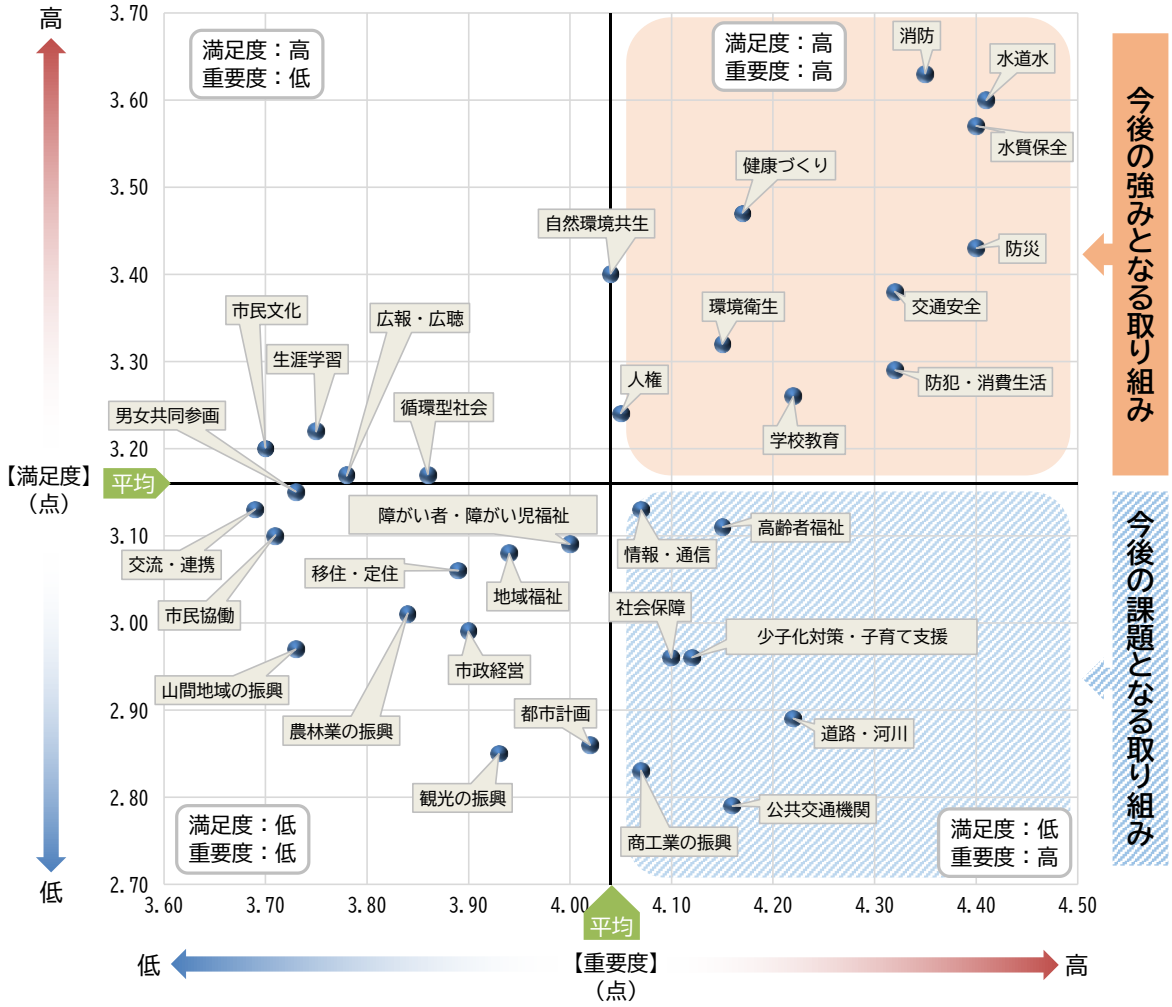
➢ **満足度・重要度分析：【公共交通機関】【道路・河川】【商工業の振興】【少子化・子育て支援】【社会保障】【高齢者福祉】【情報・通信】は今後の課題となる取り組み**

各取り組みの満足度得点と重要度得点を散布図に展開し、満足度得点の平均値（3.16）と重要度得点の平均値（4.04）で４つの象限に区分します。

これによると、満足度が高く重要度が高い取り組みは、【消防】【水道水】【水質保全】【防災】【交通安全】【防犯・消費生活】【健康づくり】【環境衛生】【学校教育】などで、本市の強みとして活かしていくことが考えられます。

一方、満足度が低く重要度が高い取り組みは、【公共交通機関】【道路・河川】【商工業の振興】【少子化・子育て支援】【社会保障】【高齢者福祉】【情報・通信】などで、喫緊の課題として、取り組んでいくことが考えられます。

【満足度得点と重要度得点の散布図：市民（n=940）】



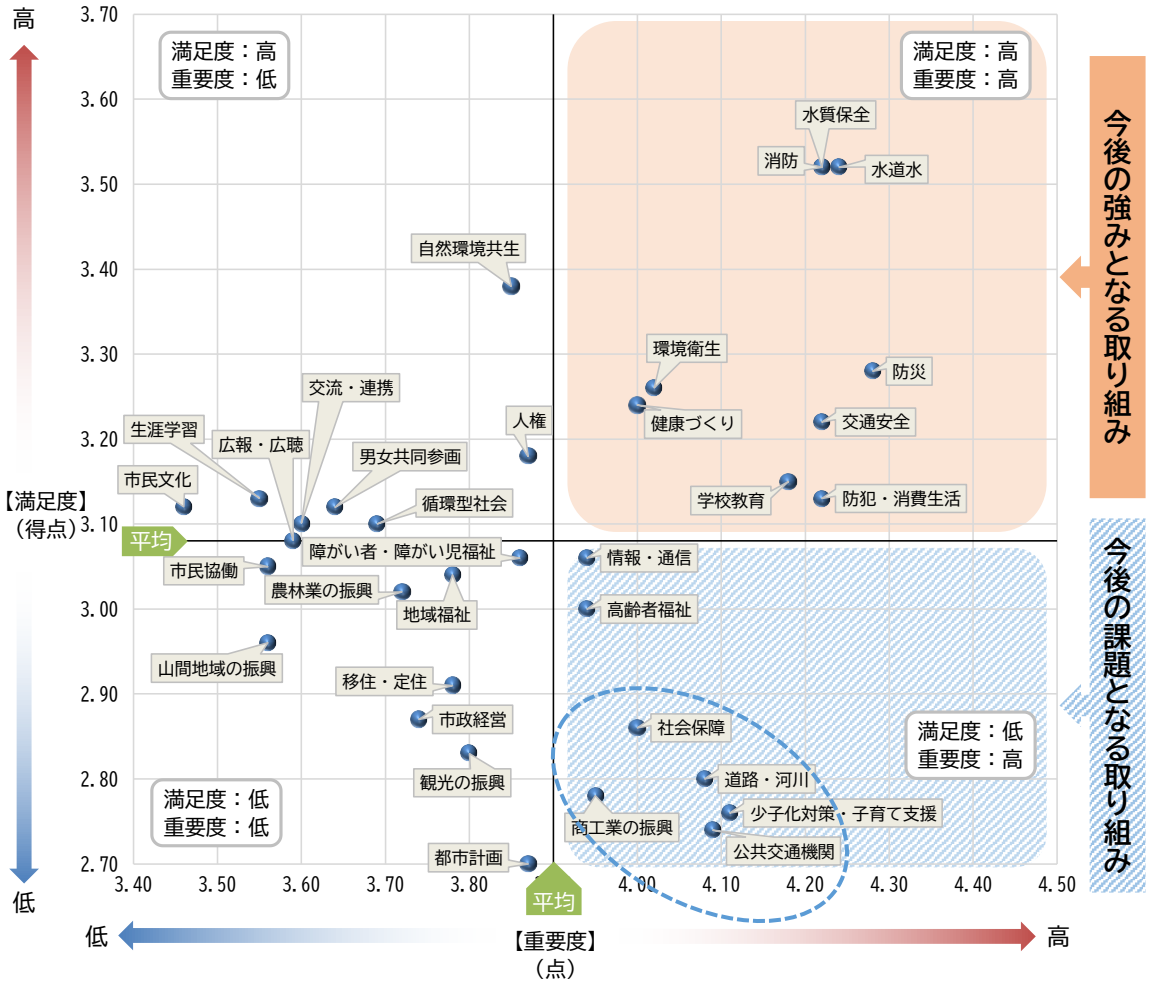
➢ **満足度・重要度分析（年齢別）：59 歳以下では、特に【公共交通機関】【少子化・子育て支援】【道路・河川】【商工業の振興】【社会保障】が今後の課題として重要**

59 歳以下の散布図をみると、満足度得点の平均値（3.08）と重要度得点の平均値（3.90）は、全体の各平均値よりも低くなっています。

満足度が低く重要度が高い取り組みでは、特に【公共交通機関】【少子化・子育て支援】【道路・河川】【商工業の振興】【社会保障】は満足度が低く重要度が高い傾向を示しており、現役世代にとって重要な取り組みと考えられます。

また、参考として若年層が高萩市に足りないと感じているものをみると、多い順に「駅周辺の店舗（飲食店、娯楽施設など）」「買い物の場所（ショッピングセンターなど）」「レジャー施設」などとなっています。

【満足度得点と重要度得点の散布図：59 歳以下（n=293）】



【高萩市に足りないもの：若年層】

若年層（n=126）：高萩市に足りないもの		
1位	駅周辺の店舗（飲食店、娯楽施設など）	67.5%
2位	買い物の場所（ショッピングセンターなど）	54.8%
3位	レジャー施設	28.6%
4位	交通機関（鉄道、バスなど）	21.4%
5位	観光地や施設	16.7%

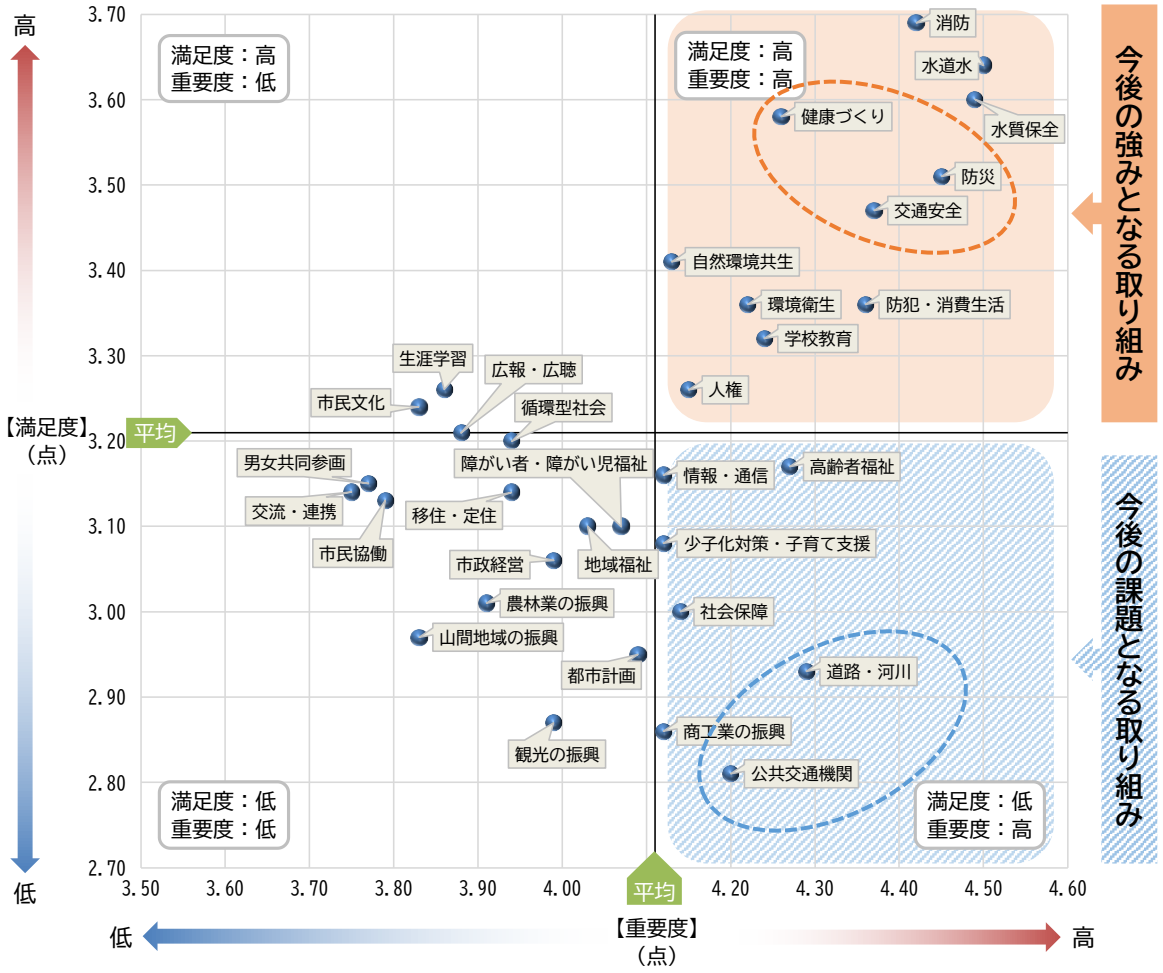
➢ **満足度・重要度分析（年齢別）：60 歳以上では、特に【公共交通機関】【道路・河川】が今後の課題として重要**

60 歳以上の散布図をみると、満足度得点の平均値（3.21）と重要度得点の平均値（4.11）は、全体の各平均値よりも高くなっています。

満足度が高く重要度が高い取り組みでは、59 歳以下と比較して【健康づくり】【防災】【交通安全】が満足度・重要度ともに高い項目となっています。

一方、満足度が低く重要度が高い取り組みでは、特に【公共交通機関】【道路・河川】は満足度が低く重要度が高い傾向を示しており、シニア世代にとって重要な取り組みと考えられます。

【満足度得点と重要度得点の散布図：60 歳以上（n=635）】



⑥　これからのまちづくり

➢ **まちの資源：「子どもたち」「子育て世代」「自然環境」「近隣市との連携」が大事**

本市をよいまちにするための資源について年齢別にみると、59 歳以下では「子どもたち」「子育て世代」が６割超と多く、60 歳以上では「子どもたち」「自然環境（山林・海・水辺・川）」が６割超となっています。その他、年代に関わらず「近隣市との連携」が重要とされています。

【まちの資源：市民（年齢別）】

59歳以下（n=293）：生かす資源		
1位	子どもたち	67.9%
2位	子育て世代	62.1%
3位	自然環境（山林・海・水辺・川）	53.2%
4位	近隣市との連携	40.3%
5位	県内主要都市へのアクセスの利便性	36.9%

60歳以上（n=635）：生かす資源		
1位	子どもたち	63.6%
2位	自然環境（山林・海・水辺・川）	61.9%
3位	子育て世代	53.9%
4位	近隣市との連携	48.8%
5位	特技や専門性を持つ市民の活用	39.4%

➢ **どのようなまちを望むか：59 歳以下では「教育と子育て環境」、60 歳以上では「安心して充実した生涯」、若年層では「商業やレジャー施設」などが望まれている**

これからどのようなまちを望むかについて年齢別にみると、59 歳以下と 60 歳以上ともに「お互いを支え合い、健康で、子ども・高齢者・障がいのある人などを大切にするまち」が最も多く、そのほか、59 歳以下では「子どもがたくましく成長する教育と子育て環境のよいまち」、60 歳以上では「高齢者が生きがいを持ち、安心して充実した生涯がおくれるまち」などがそれぞれ多くなっています。

一方、若年層では住む人を増やすために必要だと思う支援策として、「商業施設やレジャー施設を増やすための支援を行うこと」が最も多く、次いで「新たに企業を誘致し働く場を増やすこと」「若い人へ経済支援すること」などとなっています。

【どのようなまちを望むか：市民（年齢別）】

59歳以下（n=293）：どのようなまちを望むか		
1位	お互いを支え合い、健康で、子ども・高齢者・障がいのある人などを大切にするまち	37.5%
2位	子どもがたくましく成長する教育と子育て環境のよいまち	33.4%
3位	災害、交通事故、犯罪の少ない安全なまち	31.4%
4位	道路、公園、住宅などの生活環境のよいまち	24.6%
5位	高齢者が生きがいを持ち、安心して充実した生涯がおくれるまち	24.2%

60歳以上（n=635）：どのようなまちを望むか		
1位	お互いを支え合い、健康で、子ども・高齢者・障がいのある人などを大切にするまち	47.2%
2位	高齢者が生きがいを持ち、安心して充実した生涯がおくれるまち	35.9%
3位	災害、交通事故、犯罪の少ない安全なまち	29.0%
4位	子どもがたくましく成長する教育と子育て環境のよいまち	23.1%
5位	ゴミや公害のない清潔・快適で自然環境を大切にするまち	15.0%

【人口を増やすために必要だと思う支援策：若年層】

若年層（n=126）：住む人を増やすために必要な支援策		
1位	商業施設やレジャー施設を増やすための支援を行うこと	44.4%
2位	新たに企業を誘致し働く場を増やすこと	28.6%
〃	若い人へ経済支援すること	28.6%
4位	教育や子育ての環境を良くすること	22.2%
5位	若い人の就職に関して支援すること	21.4%